

# ウクレレ弾き歌いのための コード講座 復習編



## 今だからこそじっくり復習

コードは用語が多くて苦手意識がある、わかったようなわからないようなモヤモヤを抱えている、知識を体に入れてウクレレ弾き歌いや音楽をもっと楽しみたい、そんな方のために、ウクレレ弾き歌いに役立つコード講座の復習用テキストと、おさらいテストを作りました。

声のサロンがオンライン開催で通えない今だからこそ、じっくり復習して、ウクレレ弾き歌いがさらに楽しめるようになりましょう。

勝田 敦子

## はじめに

### 復習編で目指すこと

なんとなくわからない、という状態から「どこがわからないかわかる」さらに「苦手なところは体に入れてしまう」のがこのテキストの目標です。

コード理論にはたくさんの用語がありますが、ウクレレ弾き歌いに最低限必要な用語や考え方に絞りました。わかりにくかったところを中心にテキストを読み、テストを繰り返し覚えて体に入れましょう。

### コードの2つのポイントは【タテ】と【ヨコ】

コードは英語でchordと書きます。

単に「和音」という意味ですが、専門用語ではとくに、3つ以上の音を同時に鳴らしたときの和音のことを指します。

音楽は時間の流れの中で変化していく「時間芸術」です。

捉えにくい時間を、タテとヨコでとらえやすくしたのがコード理論です。

タテは「その瞬間」に鳴っている音、ヨコは「時間の流れ」の中で変わる和音のつながり方です。

このテキストは、「タテの重なり」と「ヨコのつながり」と、それを応用して「キーを変える」の3つのパートにわけて説明していきます。

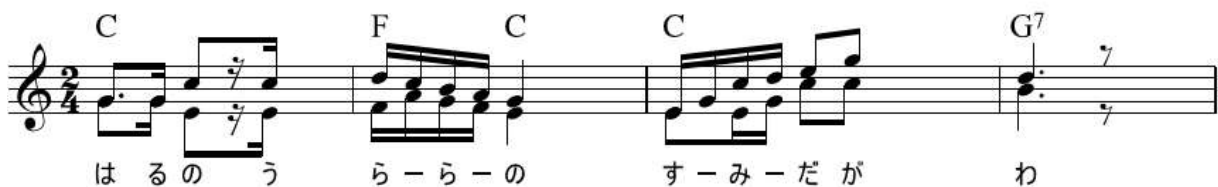
## 目次

今だからこそじっくり復習	1
はじめに	2
復習編で目指すこと	2
コードの2つのポイントは【タテ】と【ヨコ】	2
目次	3
1. タテの重なり	4
2. ヨコのつながり	8
3. キー（調）を変える	18
おさらいテスト【タテ】編	23
おさらいテスト【タテ】編（解答）	25
おさらいテスト【ヨコ】編	27
おさらいテスト【ヨコ】編（解答）	29
おさらいテスト【キーを変える】編	31
おさらいテスト【キーを変える】編（解答）	32

## 1. タテの重なり

コード、といって思いつくのは、C、G7などの記号でしょう。

この記号「コードネーム」は、その瞬間に同時に出ている音の重なり方をあらわしたものです。この章では、コードネームアルファベットと数字に分解して、重なり方を見ていきましょう。



C F C C G7  
は る の う ら - ら - の す - み - だ が わ

### 1. ドレミをアルファベットにおきかえる

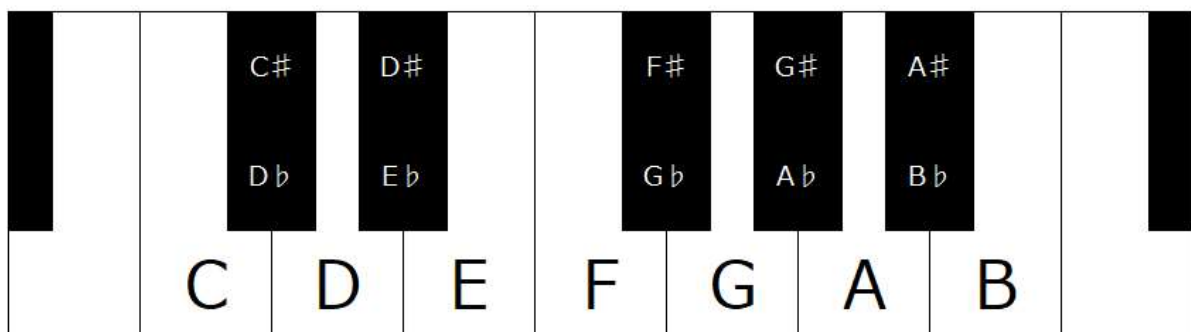
コードの記号で出てくる、cとかGなどのアルファベットは、「ルート音」といってコードの土台をあらわしたものです。

ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
C	D	E	F	G	A	B

ここでのポイントは、ドがAではなく「C」ということ、ラで「A」に戻ることです。

これさえ覚えれば、あとは順番に並べるだけです。

#シャープ（半音上げる）やbフラット（半音下げる）はアルファベットの後ろにつけます。



C# D# F# G# A#  
Db Eb Gb Ab Bb  
C D E F G A B

## 2. ドレミを数字におきかえる

こんどは、ドレミを数字におきかえます。

なぜ数字にするかというと、コードの土台ルート音を「1」として、何番目の音が重なるかという【距離】をあらわすのに便利だからです。

ルート音がドの場合

ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
1	2	3	4	5	6	7

ドが1、というのはアルファベットの時より簡単ですね。

簡単だからこそ、頭でわかっただけでなく、体に入れることが大切です。

アルファベットと違うのは、**1が移動すること**。

常に「ド=1」ではない、というのが数字にしたときのポイントです。

たとえば、ルート音がファやソの場合、このようになります。

ルート音がFファの場合

ファ	ソ	ラ	シ	ド	レ	ミ
1	2	3	4	5	6	7

ルート音がGソの場合

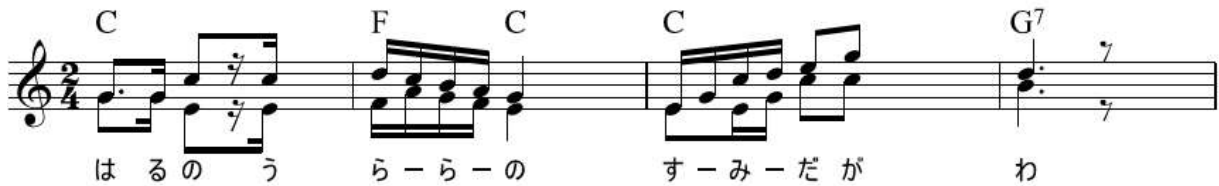
ソ	ラ	シ	ド	レ	ミ	ファ
1	2	3	4	5	6	7

※シンプルにするため八長調の場合を例にしています

### 3. メジャー

アルファベットと数字の表を頭に入れたら、コードの中身を見ていきましょう。

冒頭で出てきた楽譜に出てくるのは、C・F・G7の3種類です。



C・F・G7それぞれの中身はどうなっているのでしょうか。

アルファベット以外になにもついていない場合、「メジャー」という明るい響きができる和音という意味です。

メジャーのとき上に重なる音は、ルート音を1として、**3番目と5番目**です。

Cメジャーの場合、ルート音はド、その上に重なるのはミとソです。

一番下のドを1、そこから数えて3番目のミ、5番目のソというように数字でとらえるクセをつけましょう。

ちょうど、音符がお団子のようにきれいにくっついているとき、一番下はルート音、そこに3番目・5番目が重なるのを覚えてください。

ソ	5	5音
ミ	3	3音
ド	1	ルート音

#### 4. セブンス

冒頭の楽譜では、4小節目にG7というコードが出てきました。数字の7が書いてあったら、セブンスというコードです。セブンと呼ぶこともあります。八長調の場合、G7はよく出てくるコードなので覚えておきましょう。

セブンスとは、メジャーの3音にルート音から数えて**7番目の音を追加する**、という意味です。

ここまでのおさらいをしながら、G7（ジーセブンス/ジーセブン）の中身を確認しましょう。

Gのルート音はドレミでいうと何か言えますか？

正解はソです。

では、Gメジャーの構成音は何でしょうか。ドレミを数字におきかえたときの表を思い出してください。

ルート音がソの場合

ソ	ラ	シ	ド	レ	ミ	ファ
1	2	3	4	5	6	7

メジャーのときは1・3・5番目の音が重なるので、ソ・シ・レです。

これに7番目のファを追加するとG7ができます。

セブンスは1・3・5・7番目、G7の場合ソシレファ、の4音が構成音です。

ソラシドレミファ、と数えてもいいのですが、もう少し早く数える方法があります。

オクターブは8個音があるので、引き算をすれば簡単に数えられます。

$$8 - 7 = 1$$

7番目の音は1音前の音と同じなので、ソの1音前はファ、とわかります。

数字で考えるのは便利ですね。

## 2. ヨコのつながり

曲を聞いていて、「そろそろサビが出てきそう」とか「もうすぐ終わりそうだな」と次の流れが感じ取れることはありませんか。音楽の知識がなくても感じ取れるパターンがあって、そこにはコードが深く関わっています。

この章では、音楽が時間とともに流れていくときの、コードのつながり方「コード進行」について説明します。

コード進行のパターンがわかると、ウクレレのコードも覚えやすくなります。

### 1. コード進行とは

「♪～ 気をつけ、礼、戻る」

小学校の発表会や音楽の授業などで、「ジャーン、ジャーン、ジャーン」と鳴ると、ビシッとしてしまう音がありましたね。

あれはどんなコードだったかというと、

C (ドミソ) → G7 (ソシレファ) → C (ドミソ)

この2種類のコードでできています。

Cが鳴ると、シャキッとしますね。そして次は礼が来るな、と予想もできます。

G7が鳴ったら、礼！の状態になります。礼のまま次が来ないとプルプルしてしまいますね。早くこの緊張から抜け出したい～！という気持ちになり、

次のCが鳴ると、もとに戻ってホッとして緊張が解ける、

こんな流れが、コード進行です。

コード進行にはどんなパターンがあるのでしょうか。

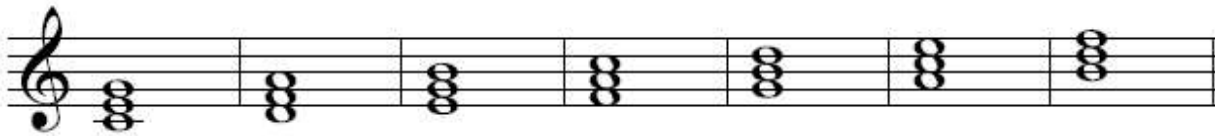


## 2. 主要三和音

コード進行のパターンを理解するのに大切な用語、「主要三和音」について説明します。

ピアノの黒鍵を使わない、八長調（Cメジャー）の場合、ドから順番に3番目5番目の音を重ねると、このような楽譜になります。

お団子が並んでいるみたいですね。お団子の種類に、あんこ、みたらし、しょうゆなど、定番があるように、コードにも定番のものがあります。それが、「主要三和音」です。



楽譜にアルファベットと数字をつけました。（コードに数字をつけるときは、ローマ数字をつけることになっているので慣れましょう）

C	D	E	F	G	A	B
I	II	III	IV	V	VI	VII

この中で、コードとしてよく使うのは**C・F・Gの3つ**です。数字でいうと**I・IV・V**です。この数字はよく覚えてください。

### 3. 主要三和音ごとの役割～トニック・ドミナント・サブドミナント～

この3つのコード主要三和音には、それぞれ名前がつけられています。

大事なものには名前がつくんですね。これもよく出てくるので覚えてしまいましょう。

C	I	トニック (T)
F	IV	サブドミナント (SD)
G	V	ドミナント (D)

それぞれに役割があって、Cメジャーの曲の場合このようになります。

C	I	トニック	いつもの安定感。でも違うところにも行きたい
F	IV	サブドミナント	ちょっと冒険。このままでは終われない
G	V	ドミナント	さらに冒険。でもいつものところに戻りたい気もする

主要三和音だけでできている曲もたくさんあります。

本当に大事なコードなので、数字と名前を覚えてくださいね。

ここでちょっと数字のおさらいです。

【タテ】で出てきた数字は、1・3・5。

ルート音1に3番目・5番目の音に乗るというルールでした。

【ヨコ】で出てきた数字は主要三和音、I (1) ・IV (4) ・V (5) 。

数字で混乱してきたら、タテとヨコで1と5は共通、3と4が違うんだなと覚えておきましょう。

#### 4. だんご3兄弟のプチ冒険

主要三和音を組み合わせると、ストーリーが生まれます。

トニック・サブドミナント・ドミナントの役割は、コードの居場所のようなものです。

C	I	トニック	いつもの安定感。でも違うところにも行きたい
F	IV	サブドミナント	ちょっと冒険。このままでは終われない
G	V	ドミナント	さらに冒険。でもいつものところに戻りたい気もする

イメージしやすいように、だんご3兄弟の冒険物語で考えてみましょう。

冒険といっても、子供なので近所へ遊びに行く冒険です。

外で遊びたい！

3兄弟が家でお留守番をしていたら、一番下の弟が飽きてしまって、「外で遊びたい」と言うので近所の公園に行くことにしました。



いつもいる家がトニック、近所の公園はサブドミナントにあたります。

通い慣れた公園でも、家に比べるとちょっと**おでかけ気分**が味わえる場所です。

**じっとしていると飽きて外に行きたくなる**、この動きが、トニックからサブドミナントです。

公園で遊んでいたら、お腹がすいてきました。真ん中の弟が「アイス食べたい」とわがままを言うのでコンビニ連れて行きました。お兄ちゃんも、お金を使うのは慣れていないので、緊張する場所です。

**緊張する場所はドミナント**です。遊び慣れた公園から、緊張するコンビニへ出かける、この動きがサブドミナントからドミナントです。

夕方になって遊び疲れたので、3人はお家に帰りました。緊張する冒険から帰ってホッとす、この動きがドミナントからトニックです。

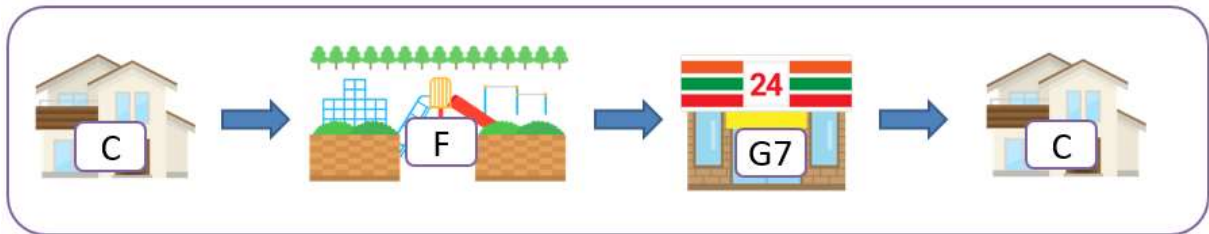
家にいると飽きて冒険したくなる、冒険したら家に帰りたくなる、  
この気持ちの動きで音楽ができています。

トニックは家

サブドミナントは遊び慣れた公園

ドミナントは緊張するコンビニ

というイメージで覚えてみてください。



ちなみに、なぜコンビニが出てきたのか、というと

ドミナントのところには**G7**など**”セブンス”**がよく使われるからです。

曲の中では、**トニックで始まり、トニックで終わる**ことがほとんどです。

サブドミナント、ドミナントは句読点のように、次に続く場面で使います。

途中はいろいろなパターンがあり、トニックからいきなりドミナント（コンビニ）に出かけることもあれば、公園（サブドミナント）に行ったらすぐにトニック（家）に帰ることもあります。

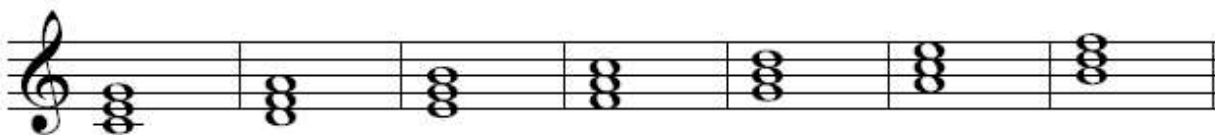
この流れがわかると、ウクレレのコードを覚えるのがラクになるので、楽譜を見たらトニック・ドミナント・サブドミナントのパターンをチェックしてみてください。

### 5. 主要三和音の代わりにコード～代理コード～

主要三和音だけだと飽きてしまうので、代わりにコードを使うことがあります。コード用語では「代理コード」と呼んでいます。

代理とはいえ、主要三和音だけでは飽きてしまうのを防いで、意外性・新鮮味が感じられるので、けっこう活躍するコードです。

代理コードを使うときの選択肢は、八長調の場合、白い鍵盤だけを使うのが原則です。（それ以外もありますが、ここでは扱いません）



上の楽譜をコードと数字にするとこうなります。

C	Dm	Em	F	G	Am	Bm b 5
I	II	III	IV	V	VI	VII

※まだ説明していないコードが出てきたので軽く触れておきましょう。

小文字のmは「マイナー」といって、暗くて不安定な響きがするコードをあらわす記号です。明るい調なのに暗いマイナーが出てくるのは不思議ですね。マイナーについてはこのあと詳しく説明します。

Bm b 5 (Bマイナーフラットフィフス) は、あまり使わないので、そういうものもあるんだな、と流してかまいません。

定番以外にもいろいろあるんだなあ



代理コードになれるのは**同じ音を多く含んでいるから**です。

先ほどのコードの構成音を並べた表です。

5音	ソ	ラ	シ	ド	レ	ミ	ファ	ソ
3音	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド	レ	ミ
ルート音	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド
コード	C	Dm	Em	F	G	Am	Bm b5	C

一番使う頻度が高いものは、C (I) の代わりにAm (VI) を使うことです。

ドミソとラドミの「ドミ」が共通点ですね。頻度が高いのはCメジャーの主役、ドを含んでいるからです。

他には、F (IV) の代わりにDm (II) 、G (V) の代わりにEm (III) のように使います。

ここからは頻度が少ないのですが、法則がつかめるように、あと2つご紹介します。

Bm b5 (VII) はG (V) の代わりになります。

Em (III) はC (I) の代わりになることもありますが、曲の終わりなどには使いません。(ドがないので、終わった感じがしないから)

表の構成音をよく見てなにか法則に気がつきませんか。

音階は音を一つおきにずらしているから、**同じ音が出てくるのも一つおき**。

隣のコードは代理になれません。

つまり、**主要三和音の2つ前・2つ後ろ**に代理コードがある、と考えられそうです。

役割ごとに代理コードをまとめるとこうなります。

役割	主要三和音	代理コード1 (主要三和音の2つ前)	代理コード2 (主要和音の2つ後ろ)
トニック (T)	C (I)	Am (VI)	Em (III)
サブドミナント (SD)	F (IV)	Dm (II)	-
ドミナント (D)	G (V)	Em (III)	Bm b5 (VII)

主要三和音しかない楽譜を、ちょっとおしゃれにアレンジしたいときは、代理コードをスパイスのように使うといいでしょう。

DmとかEmの指使いが難しいと思うときは、FやG (G7) など知っているコードに置き換えてラクをすることもできます。

#### ▼コードとその構成音・役割

5音	ソ	ラ	シ	ド	レ	ミ	ファ	ソ
3音	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド	レ	ミ
ルート音	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド
コード	C	Dm	Em	F	G	Am	Bm b5	C
数字	I	II	III	IV	V	VI	VII	I
役割	T	SD	D/T	SD	D	T	D	T

## 6. マイナーコード

代理コードのところに出てきた、小文字のm「マイナーコード」について説明します。

ウクレレの指使いを丸暗記してしまえばいいのですが、全部を覚えるのは大変です。理屈がわかるとウクレレの指使いが覚えやすくなるので、じっくり見ておきましょう。

メジャーコードは、明るい響きがするのに対して、マイナーコードは暗くて不安定な響きがします。メジャーとマイナーの音の違いはどこにあるのでしょうか。

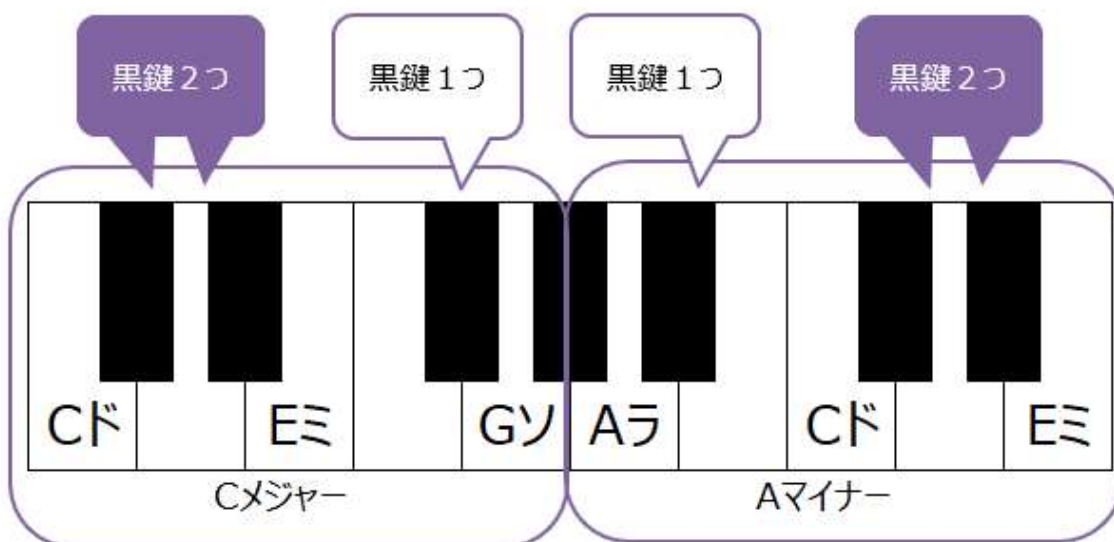
違いは**3番目の音の位置**です。ピアノの鍵盤で考えるとわかりやすくなります。

C（シーメジャー）とAm（エーマイナー）で比較してみましょう。

それぞれの構成音は、Cメジャーの場合「ドミソ」、Aマイナーの場合「ラドミ」です。

今までは白鍵だけを見てきましたが、ここでは黒鍵に注目してください。

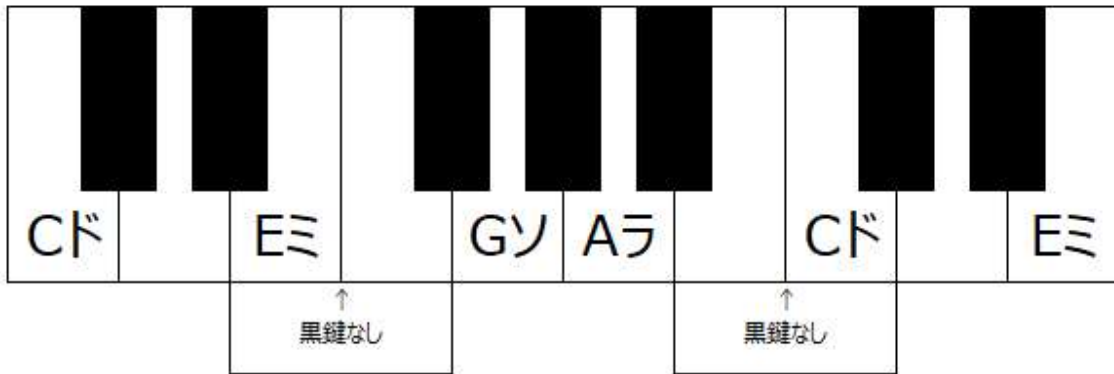
ドミソのときの3番目の音は、ミです。ドとミの間には黒鍵が2つ、ミとソの間には黒鍵が1つあります。ラドミのときの3番目の音は、ドです。ラとドの間には、黒鍵が1つ、ドとミの間には黒鍵が2つあります。





鍵盤には黒鍵がないところが2箇所あります。ミとファの間と、シとドの間です。

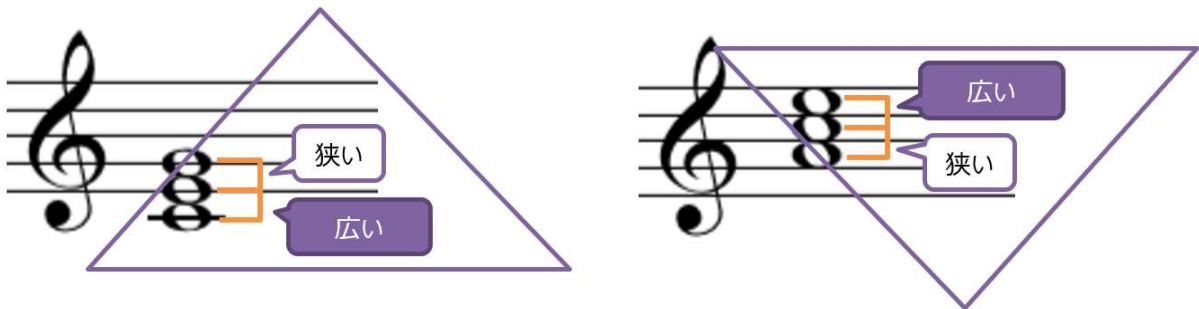
3番目の音が、黒鍵がないところをまたぐか、またがないかで明るい暗いかが決まります。



建物は土台がしっかりしている方が安定するように、コードも下が広いほうが安定します。

下の図のように、三角形でイメージすると思出しやすくなります。

メジャーとマイナーの明るい・暗いは3番目が決めている、ということを覚えましょう。



こんなルールを知らなくても、人間の耳（脳）は、安定している音は明るいと感じ、不安定な音は暗い・怖いと感じるようになってきているのだそうです。不思議ですね。

### 3. キー（調）を変える

ここまで、ルート音がわかり、メジャー・セブンス、マイナーコードを覚えました。そして、「ヨコのつながり」では、主要三和音やその代わりになれる音、トニック・ドミナント・サブドミナントを覚えました。これで八長調のコードはほとんどマスターできました。

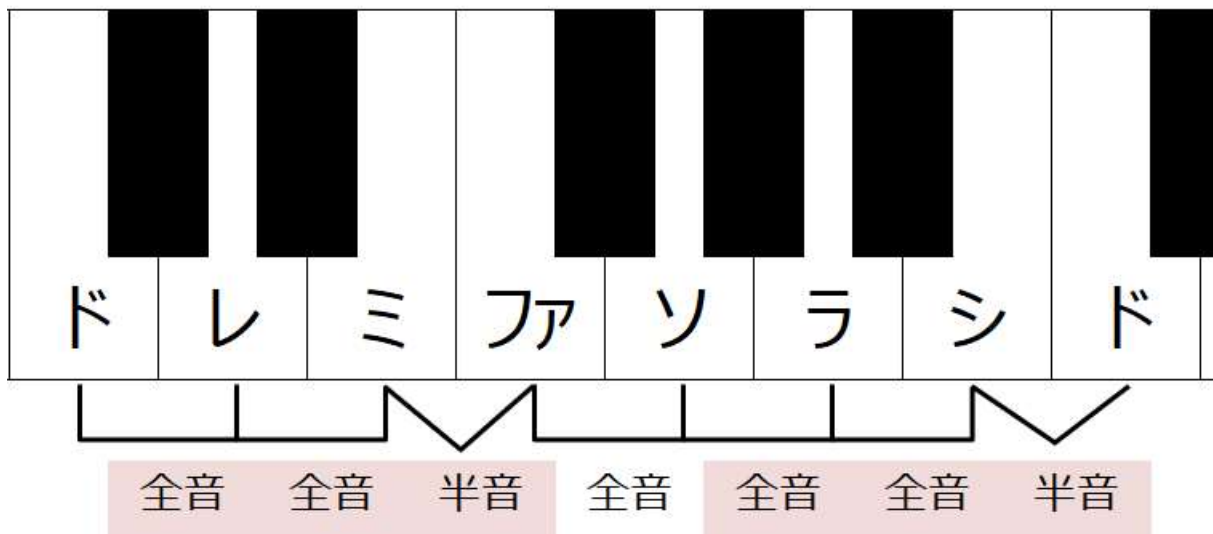
この章では、八長調以外の曲にも応用する方法を説明します。

#### 1. 長調の音階

まずは、キーを変える前の八長調の音階について知っておきましょう。

八長調の音階は鍵盤でこのように並んでいます。「間に黒鍵がないミとファ・シとドのところが狭い」とマイナーコードのところで説明しました。

広いところの幅を音楽の用語では、「全音」、狭いところを「半音」といいます。この全音と半音の組み合わせで音階の雰囲気が決まります。



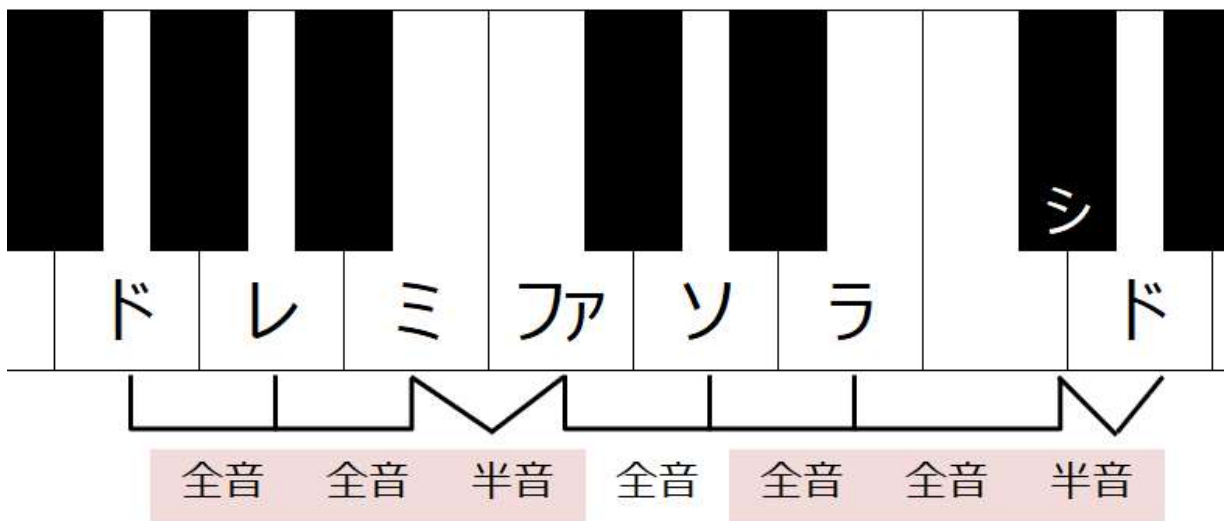
全音・全音・半音 全音 全音・全音・半音の組み合わせの場合、明るい音階に聞こえる「長調」になります。

前半の【全音・全音・半音】と後半の【全音・全音・半音】を【全音】でつないでいる、と考えると覚えやすくなると思います。

このドをG (ソ) の位置にずらして、全音・全音・半音 全音 全音・全音・半音 をキープしたまま平行移動すると、下の図のようになります。

わかりやすくするためにドレミも平行移動しました。

最後のシドのところを半音にするには、Fを半音上げる記号シャープをつける必要があります。



これが、楽譜のはじめにシャープが1つついている、Gメジャー長調です。

この、位置関係をキープするために、#シャープ（半音上げる）、bフラット（半音下げる）という記号をつけます。

次のページでは、シャープ・フラットがつく法則をご紹介します。

## 2. キー（調）について



明るい調である長調（メジャー）の代表的なものをシャープ系・フラット系2つずつ紹介します。覚える必要はありませんが、わかっているとキーを変えるのが簡単になります。難しいなと思ったらさらっと目を通しておくだけで大丈夫です。

カラオケでキーを変えるときは、半音ずつ上げ下げしますが、楽譜中では半音ずつだとかえって見た目が複雑になってしまいます。（シャープが7つついた楽譜は難しそうですね）

楽譜の世界では、キーは**5音ずつ**上げ下げすることになっています。

シャープが増えるごとに5音上へ、フラットが増えるごとに5音下へずれていく、このことを頭に入れながら説明を読んでください。

### シャープ系

#の数	調号と主音	音階	日本語	英語
1		ソラシドレミファ <del>ソ</del> #ソ	ト長調	Gメジャー
2		レミファ <del>ソ</del> #ソラシド <del>レ</del> #レ	二長調	Dメジャー



Cメジャーからシャープが1つ増えたキーはGメジャーです。このキーの音階はソで始まりま  
す。ドレミファ「ソ」と数えて5番目です。音階のはじめの音が日本語ではト、英語ではGな  
ので、ト長調・Gメジャーという名前がついています。

シャープがもう1つ増えると、5音上がって、ソラシド「レ」のレで始まる二長調・Dメジャー  
になります。

楽譜を見て何のキーか混乱したとき、一瞬で見分ける裏技があります。それは、最後にシャ  
ープがついているところが、そのキーの「シ」になります。つまり、最後のシャープの1音上がそ  
のキーの「ド」ということです。

シャープだから「シ」と覚えてみてください。

## フラット系

♭の数	調号と主音	音階	日本語	英語
1		ファソラシ♭ドレミファ	へ長調	Fメジャー
2		シ♭ドレミ♭ファソラシ♭	変口長調	B♭メジャー

Cメジャーからフラットが1つ増えたキーはFメジャーです。

このキーの音階はファで始まります。ドシラソ「ファ」と下に数えて5番目です。ファは日本語でへ、英語でFなので、へ長調・Fメジャーです。

フラットがもう1つ増えると、5音下がって、ファミレド「シ♭」の「シ♭」で始まる変口長調・B♭メジャーになります。

フラットの場合、2つ目からすべてキーの名前にフラットがつきます。日本語の「変」はフラットのことで、英語の名称のほうがなんだかわかりやすいですね。この機会に英語で覚えるのもおすすめです。

フラットにも一瞬で見分ける裏技があります。

最後にフラットがついているところが、そのキーの「ファ」の音になります。これもフラットの「ファ」だから覚えやすいでしょうか。

フラットが2つついている場合、最後のフラットはミについています。そこからミレドシと（ファミレドと同じように4つ）下がると、シ♭がその調号のキーになります。

もっと早い裏技は、最後から2つめのフラットがその調号のキー、と見分ける方法です。

同じくフラット2つ場合、最後から2つめのフラットはシなので、シ♭がキーのB♭メジャーだとわかります。フラットが1つのときはファで始まるFメジャーと覚えなければいけないのですが、フラットが増えてきたとき素早く見分けられる裏技です。

### 3. キー（調）を変える

コードがわかってくると、キー（調）を変えるのは簡単にできます。ここまでアルファベットと数字で音を捉える練習を何度もしてきたからです。

シャープやフラットの数や位置が覚えられなくても、こんなふうに表にしておくと、簡単にキーを変えることができます。

たとえば、Cメジャーをシャープ1つのGメジャーに変えるときは、CをGに、FをCに、G7をD7に、というふうに置き換えます。

フラット系はコードネームにもフラットが出てくるので注意が必要です。

数字	I	IV	V
役割	トニック	サブ ドミナント	ドミナント
Cメジャー	C	F	G (7)

#### シャープ系

#1つ	Gメジャー	G	C	D (7)
#2つ	Dメジャー	D	G	A (7)

#### フラット系

b1つ	Fメジャー	F	Bb	C (7)
b2つ	Bbメジャー	Bb	Eb	F (7)

「やっぱり難しい。私はずっと八長調でやっていく！」と決めてしまうのはもったいない。声や他の楽器の音域に合わせたり、曲のオリジナルの調で演奏できたりするなど音楽の幅が広がるので、この表を見ながらキーを変える練習をしてみてください。

## おさらいテスト【タテ】編

1. この音はアルファベットで何でしょうか。

ファ	
ラ	
ミ	

2. この音はドレミで何でしょうか。

G	
D	
B	

3. ド=1の場合、次の音は数字で何でしょうか。

ソ	
ラ	
ミ	

4. ソ=1の場合、次の音はドレミで何でしょうか。

3	
5	
7	

5. ファ=1の場合、次の音はドレミで何でしょうか。

3	
5	
4	

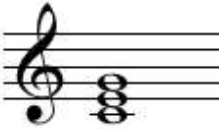

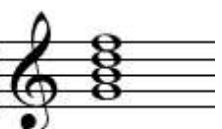

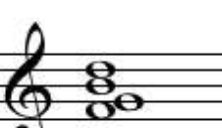
6. 次のコードの構成音はドレミで何でしょうか。

C			
---	--	--	--

F			
---	--	--	--

G7			
----	--	--	--

7. この和音のコードネームは何でしょうか。



## おさらいテスト【タテ】編（解答）

1. この音はアルファベットで何でしょうか。

ファ	F
ラ	A
ミ	E

2. この音はドレミで何でしょうか。

G	ソ
D	レ
B	シ

3. ド=1の場合、次の音は数字で何でしょうか。

ソ	5
ラ	6
ミ	3

4. ソ=1の場合、次の音はドレミで何でしょうか。

3	シ
5	レ
7	ファ

5. ファ=1の場合、次の音はドレミで何でしょうか。

3	ラ
5	ド
4	シ


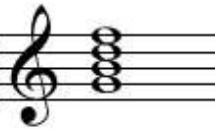

6. 次のコードの構成音はドレミで何でしょうか。

C	ド	ミ	ソ
---	---	---	---

F	ファ	ラ	ド
---	----	---	---

G7	ソ	シ	レ	ファ
----	---	---	---	----

7. この和音のコードネームは何でしょうか。

	C (Cメジャー)
	G (Gメジャー)
	G7 (Gセブンス/Gセブン)
	F (Fメジャー)
	G7 (Gセブンス/Gセブン)

※下の2つは順番を入れ替えてみましょう。

## おさらいテスト【ヨコ】編

※すべてCメジャー（ハ長調）で考えてください

1. Cメジャーの主要三和音は何でしょうか。

--	--	--

2. 次のコードネームの役割を、トニック・ドミナント・サブドミナントの中から選んで埋めてください。

C	
F	
G7	

3. トニック・ドミナント・サブドミナントをローマ数字で答えてください。

（ローマ数字：Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ）

トニック	
サブドミナント	
ドミナント	


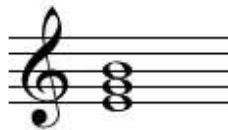

4. 曲の終わりによく使うパターンを選んで○をつけてください。

トニック → ドミナント → サブドミナント	
トニック → サブドミナント → ドミナント	
トニック → ドミナント → トニック	

5. 次のマイナーコードは主要三和音のどのコードの代わりになれるでしょうか。

Am	
Dm	
Em	

6. この和音のコードネームは何でしょうか。

## おさらいテスト【ヨコ】編（解答）

※すべてCメジャー（ハ長調）で考えてください

1. Cメジャーの主要三和音は何でしょうか。

C	F	G7
---	---	----

2. 次のコードネームの役割を、トニック・ドミナント・サブドミナントの中から選んで埋めてください。

C	トニック
F	サブドミナント
G7	ドミナント

3. トニック・ドミナント・サブドミナントをローマ数字で答えてください。

（ローマ数字：Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ）

トニック	Ⅰ
サブドミナント	Ⅳ
ドミナント	Ⅴ

4. 曲の終わりによく使うパターンを選んで○をつけてください。

トニック → ドミナント → サブドミナント	
トニック → サブドミナント → ドミナント	
トニック → ドミナント → トニック	○

サブドミナント・ドミナントは続く感じ、終わりはトニックがよく使われます。


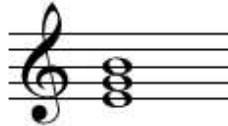

5. 次のマイナーコードは主要三和音のどのコードの代わりになれるでしょうか。

Am	C
Dm	F
Em	G7 ・ C

主要三和音の2つとなり、と考えると導き出せます。

EmはG7だけでなく、cトニックの代わりにも使うことがあります。

6. この和音のコードネームは何でしょうか。

	Dm (Dマイナー)
	Em (Eマイナー)
	Am (Aマイナー)

## おさらいテスト【キーを変える】編

1. このキーは何でしょうか。

	メジャー
---	------

2. フラットが1つのときのキーは何でしょうか。

メジャー
------

3. Gメジャーのときの、トニック・サブドミナント・ドミナントは何でしょうか。

トニック	サブドミナント	ドミナント

4. B♭メジャーのときの、トニック・サブドミナント・ドミナントは何でしょうか。

トニック	サブドミナント	ドミナント

## おさらいテスト【キーを変える】編 (解答)

1. このキーは何でしょうか。

	G メジャー
---	--------

2. フラットが1つのときのキーは何でしょうか。

F メジャー
--------

3. Gメジャーのときの、トニック・サブドミナント・ドミナントは何でしょうか。

トニック	サブドミナント	ドミナント
G	C	D7

サブドミナントである4番目の音は、ソラシ「ド」なので、Cがサブドミナント、その上のD7がドミナントです。

4. B♭メジャーのときの、トニック・サブドミナント・ドミナントは何でしょうか。

トニック	サブドミナント	ドミナント
B♭	E♭	F7

4番目の音は、シドレ「ミ♭」なので、E♭がサブドミナント、その上のF7がドミナントです。